



1月3日休日にH31年成人式が開催されました。
対象者457名のうち、319名の新成人が参加しました。

◆内容

16 特集 平成31年小諸市成人式

18 『ぼくとわたしの作品』(千曲小学校)

募集 3月公民館講座

19 『人ひと』(滝原区 小林徳元さん)

『教えて!あなたのサークル』(すずらん/浅間織スポーツクラブ)

20 『今 支館・分館では』

21 募集 音楽のまち・こもろ推進協力団体

ご案内 乙女湖体育館 展覧会

お知らせ 文化会館スケジュールなど

お正月も終わり、あつとい
う間に2月に入りましたね。
2月の行事といえば、豆まき
に恵方巻き。今年は東北東。
無言で食べ終わらないといけ
ないのは少し大変です(笑)
この冬は雪が少ない?よう
な気がしますよね。家の雪か
きはしないに越したことはな
いです。

雪かきと云えば、5年前の
大雪。当時から私は道路の除
雪作業に携わっています。道
路除雪の除雪車は冷えやすい
ために作業の前からエンジン
をかけておくのですが、夜中
その除雪車の中で「これは大
変なことになるぞ」と震えた
のを思い出します。

あの日は道路上には、雪だ
けではなく、立ち往生してい
る車やなんらかの都合で持ち
主が置いていった車が沢山。
二重に大変な除雪となりました。
皆さんと力を合わせて、
車を移動させ、少しずつ除雪
を進めていきました。作業中
に、「頑張ってね」と温かい
飲み物をくださった方々には、
心も温まりました。

もう少しで春が来ます。寒
さや風邪に負けずに頑張りま
しょう。
編集委員 中島 正和





平成31年 小諸市成人式

平成最後の成人式

〜新しい時代を切り拓く〜



平成31年1月3日(木)小諸市文化センターにおいて成人式が行われました。多くの新成人が出席し、友人や恩師との再会を喜び合いました。成人式の実行委員長・副実行委員長から新成人としての決意をお聞きしましたのでご紹介します。

『抱負』

実行委員長 佐藤 恵実



今年成人を迎え、私たちは大人といわれる立場となりました。大人とは自分の行動に責任を持つことができる人だと私は考えます。今の私は責任を持った行動ができていないかと考えると自信がありません。何かと周りや親に頼っている面があります。今年成人を迎えたことを境に、意識して過ごしていきたいと思えます。また、20年間沢山の方に支えられてここまでくることができました。家族、今まで関わった先生方、地域の方々などに感謝し今度は私たちが

『二十歳の抱負』

副実行委員長 須江 玲於奈



二十歳、一つの大きな節目を迎えることができました。これまで私を支えてくれた、家族、友人、恩師をはじめとした全ての方に心から感謝を申し上げます。

この20年間を振り返ると様々な出来事がありました。それらは、私自身を成長させてくれました。二十歳になった今、私は大きな一歩を踏み出しました。現在大学で、幼少期からの夢を実現するため日々勉強に励んでおります。実習や試験に追われていますが、毎日充実しています。新しい道だとは思いますが何事にも挑戦し続け、夢を追い続けていきたいと思えます。これからは、今まで以上に自分の行動に責任を持ち、周囲の人々に対する感謝の気持ち

『夢を叶えた二十歳』

副実行委員長 土屋 璃音



二十歳になって、大人の仲間入りしました。20年間育ててくれた家族と友達に感謝しています。

私は今短期大学に通っています。資格を取るために頑張っています。4月からは一人の社会人として保育園で働きます。自分のやりたい保育が出来る保育園を見つけることが出来たので、4月からは自分らしさを忘れずに楽しみなが



ら頑張っていきたいです。

二十歳になっても、今までと変わらず、何事も楽しく、前向きに、たくさんの方に挑戦していきたいです。大人の仲間入りをしたけれど、二十歳になった実感がありません。これからも楽しいことたくさんあると思うので、家族や友達などたくさんの人と楽しさを共有して、笑顔があふれるような生活をしていきたいです。

1回しかない成人式を最高の思い出に出来るように、参加する人全員が楽しめるようなものになって良かったです。協力してくれた皆さん、ありがとうございました!!





支えていきたいと思えます。私は現在看護学校に通っています。そこで沢山の方と関わることがあります。ひとつひとつの出会いを大切に、理想とする看護師の姿に近づけるようにこれからも勉強や実習に励みたいと思います。

— 成人式実行委員の皆さんをご紹介します —

●●●●●●●●
 須佐佐櫻堺小掛萩
 江藤藤本澤林川原
 玲
 於 恵佳祐真 来
 奈稜実奈香菜玲希

●●●●●●●●
 森茂三丸舟林土
 田木輪山田 屋
 あ
 (五十音順) さ瑞 桃里千璃
 ひ帆舞佳奈花音

ちを忘れず、社会の一員として一層貢献できるように努力して参ります。最後に、生まれ育った小諸の地で、無事に成人式を迎えられたことに感謝申し上げます。

第2回 公民館関係役員研修会
 — テーマ —

「伝える」を「伝える」にする言葉づくり

デザインプランナー間島賢一さんを講師に迎え、研修会が開催されました。公民館支館・分館の館長・主事、公民館職員、公民館報編集委員等90名を超える参加者でした。間島さんは、宣伝事務所を経営し、印刷物やホームページの企画制作等商業デザインの仕事をされる傍ら、講演活動をされています。



◆チラシ作成

読みたくなるタイトル、参加したくなるイベント名や写真を使う。そして色使いや書体の種類は少なく、タイトルだけ手書きにするなど常用でない方法がよりインパクトを与えるそうです。

公民館活動は、行事を企画し参加者を募ることが大きな役割です。そのためチラシを作り広報することは大切な仕事です。

◆「伝わる」言葉とは？
 情報を受け取る側の視点で言葉を作ると、その情報に興味を持ち共感を得るそうです。人が意識できる思考情報は5%だけ。残りの95%は無意識で言語化されない領域で、共感はその言語化されない領域で起きるとのこと。
 専門的で難しい話ですが、参加者がキャッチコピーを考へる時間があり、実際にやってみると理解できることがあります。そして普段から発想力を磨くことが必要だと感じました。

今日の研修を通して学んだことはこれからの公民館活動に大いに役立つと思います。
 編集委員 遠山 厚子

『運動会の反省』



九月十九日(水)に運動会がありました。ぼくは、今年の運動会でよかったと思ったことが三つあります。

一つ目は、応えん団で、自己紹介の時にすごく大きな声ではっきり言えたことです。練習の時は、はずかしくてぶ

『汗をたくさんかいて作った白いも』



私たち五年生は農業大学の近くの畑を原野さんにかし

つぶつ言っているみたいでしたが、練習しているうちにだんだん言えるようになりました。本番で大きな声ではっきり言えたので良かったです。もちろん白組の応えんも大きな声でできました。

二つ目は、短きより走で三位になれたことです。練習の時はあまり速く走れなくて四位になってしまっていました。でも

楽しい思いをしました。でも



は三回行きました。一回目は種いもの植えつけ、二回目は草取り、最後に収穫をしました。

種いもの植えつけでは、いもを小さく切ったものを植える作業でした。原野さんに、「土寄せが大事だよ。」

と言われました。草取りでは植えつけから数ヶ月たって草がたくさん生えていました。みんなで汗をかきながら

練習をいっぱいしたら一つだけ順位が上がりました。なのですごくうれしかったです。

三つ目は、大玉送りで勝たれました。練習ではいっばい負けていたけど、練習していくにつれていっばい勝てるようになって、本番も勝つことができました。

来年は、最後の運動会なので全校のみんなで楽しんで、そして負けないようにがんばってゆう勝したいです。

千曲小学校

ばり、草を残さないようにぬきました。収穫は、自分が植えつけた列のいもをほりました。とても大きくて両手に入り切らないのもありました。原野さんに植えつけから収穫まで教えていただいたおかげで、良い白いもができました。

収穫した白いもは、クラスみんなで料理することに決めました。おいしく食べられると良いです。



3月公民館講座のご案内

申し込み先：小諸市文化センター TEL23-8880/FAX25-2224/E-mail：bunka@city.komoro.nagano.jp



ピザ窯をつくろう

大人気！移動式ピザ窯作りがやってくる！参加者みんなで1つの窯を作ります。ランチのピザ作りも体験付き。ワークショップでしっかり学んで、お家でも作れる内容です。

- ◇開催日 3月10日(日)
- ◇時間 午前9時30分～午後4時
- ◇場所 陶芸木工室
- ◇参加費 一人500円 ※昼食のピザ代
- ◆申込み期間 2月1日(金)～2月22日(金)





『ブルーベリー団地化に
取り組んだ人』



今回紹介するのは、滝原区西新田の小林徳元さんです。今年で88歳になられたとは思えない小柄だが元気な方です。まず、びつくりするのは、自宅の前や横の畑が近所の人達の分も含めて、水田以外皆ブルーベリー一色です。小諸市では草分けのブルーベリーを始めて、早30年になります。当時養蚕が、安い中国産生糸に押されて、下火になって来ていた頃でした。何か中山間地域で、高齢者でも取り組める



る物は無いか試行錯誤して来ました。『日本農業新聞』や農業雑誌『地上』『家の光』に時々話題が載っていました。脚立もいらず消費もほとんどいらない、ただ摘み取りには手間が掛かるが、高齢者にも向いていました。信濃町、小布施町、富士見町、大鹿村等が、先進地でありました。苗を買ったり、栽培方法を聞き有志らと小布施町まで出掛けて行ったりしたそうです。小林さんは、当初「さし木」をして増やした分を近所の希望者に50本でも100本でも無償で分けて、普及に力を入れた人でもあります。その為、西新田地区では村を挙げての団地化になりました。個人の利益追求より村興しに尽力しました。公民館活動の原点ではないでしょうか。最初はブルーベリーの人気が低



かったのですが、テレビの朝番組で、紫色のアントシアニンが目に良いと放送されて一気に人気が上がり、生産者も消費者も倍増しました。依頼があれば、真田町まで出向き、講師として話をしたり、今でも毎年の様に自分の畑で剪定講習会を開いたりしています。現在は出荷量により価格不安定な生食より、まとまって軽井沢のジャム工場へ加工として出荷しています。

持ち前の楽道家と大の研究熱心で、地域の人達にも頼りにされている小林さんであります。現在は息子夫婦に仕事はほとんど任せて手伝い程度にして、マレットゴルフを仲間と楽しむ元気な方です。とはいえ、11月の内にほとんどの木が剪定を終えてスッキリしていました。

編集委員 土屋 薫

教えて！あなたのサークル

すずらん

「すずらん」とは、全日本ダンス連盟公認講師の依田先生の指導のもと、成人学級に始まり同好会に進んで、今も社交ダンスの練習を楽しんでいるグループです。

技術向上も勿論ですが、体力維持、老化防止、運動不足解消等々。リズムにのって心身を動かすことは、これから年を重ねていく日々に必要なことがたくさん満たされるように思います。練習は木曜日午後1時～3時まで。一緒にリズムにのって楽しんでみませんか？

代表 岡村 美智子



浅間嶺スポーツクラブ



小学生から高齢者の方まで対象にスポーツを楽しむことを目的としたクラブ運営を行っています。誰でも・いつでも・世代を超えてスポーツをこよなく愛することができるようサポートします。

硬式・ソフトテニス、陸上、バレーボール、ノルディックウォーク、総合フィットネスの教室の開催と体力測定、ウォーキングラリー、中長距離の陸上大会、駅伝等のイベントを年間通じて行っています。

スポーツに興味のある方は、随時会員を募集しています。お気軽に参加してみてください。お待ちしております。

代表 小田切 正

今 支館・分館では

石岐区の「ふるさと便り」

「継続は力」を合言葉に25号

50号までは続けた
小諸市石岐区の公民館文化事業部が、年4回ほど発行している「ふるさと便り」。A3サイズの紙の中に区内の歴史や人の思いが詰まっている。製作は、山口芳輝さん(72)と佐藤智英さん(71)が中心に取材から編集、印刷まですべてを行っている。2人に製作のきっかけや苦勞を聞いてみた。



山口 芳輝さん(左)と佐藤 智英さん

発行のきっかけは？

山口「16年前に早期退職して東京から実家に帰ってきて、区内の歴史や文化をほとんど知らなかった。そのため『地元のことがわかる資料として残しておきたい』と、幼馴染で当時公民館長を務めていた佐藤さんに相談しました。区民への聞き取りや写真撮影、文章を書くのは私の担当で、パソコンを使った編集や校正印刷は佐藤さんにやってもらっています」。

情報提供と製作期間は？

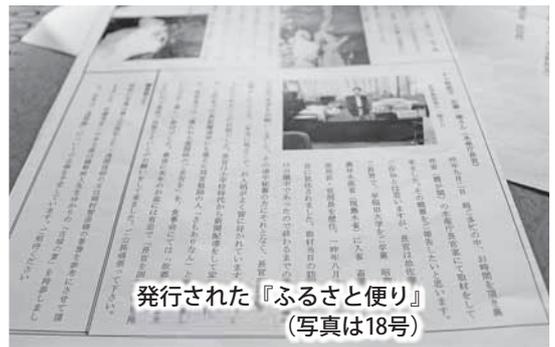
山口「テーマを考え、ある程度資料がそろったところで書き始めます。一番大変なのは資料集め。区民にお願いして貴重な写真を借りるほか、話を聞いて書き留めます。カメラは常に持ち歩いていて、とにかく記録を残すようになっています」。

佐藤「製作時間はテーマによって違いますが、まとまったものから発刊するようにしています。全戸配布しているのでも、発刊の後から新しい事実や修正が出た場合は次号の編集後記で訂正しています」。

区民の反応は？

佐藤「始めたころは、趣味でやっているのに公民館の金を使っているなんて言われたこともありました。しかし良いものになるという自信もあり『継続は力』を合言葉に続けていて、区民から評価してもらえるようになりました」。

山口「最近は快く情報提供してくれる人も多いです。ふるさと便りに乗せたい情報も増え、最初に発刊した時のA4からA3サイズに変更しました。白黒からカラーに変更した際も皆さんが喜んでくれて、保存版として大事にしてくれている人もいます」。



発行された『ふるさと便り』(写真は18号)

今後の展望を教えてください

山口「石岐区には、昔からの行事が多くありましたが、途絶えてしまっているものもあり、最近はそのことを詳しく知っている人が少なくなっています。もつと多くのことを聞き、まとめておきたいと考えています。これから新しく区に入った人が、見て参考になるような資料として残しておきたい」。

佐藤「50号までは続けたい。その間に意志を次いでくれる人が現れればと思っています。公民館の活動として組み込まれてはいますが、地元の歴史を大切に、語り継いでいく気持ちを大切にしていきたい」。



集めた資料の山

みなさんの音楽活動を支援します！

「音楽のまち・こもろ 推進協力団体」募集

小諸市はまち中に音楽があふれる「音楽のまち・こもろ」をめざしています。

そこで、市民が開催する「音楽のまち・こもろ」の冠を付した演奏会において下記会場を使用する場合に限り、その施設使用料（※）を全額免除します。

対象施設

小諸市文化センター（文化会館ホール）・小諸市市民交流センター（ステラホール）
※施設使用料は全額免除。ただし、冷暖房費や備品使用料はご負担いただきます。

推進協力団体の認定要件（一部抜粋）

- 1 音楽のまち・こもろの推進に寄与する活動を行う自発的な市民の活動団体であること
- 2 次の実態を備えた団体であること
 - ①会則があること
 - ②団体の意思を決定できる組織が確立していること
 - ③会計機能を有すること
 - ④団体活動の拠点として事務所(自宅でも可)を有すること
- 3 営利事業、政治活動及び宗教活動を行う団体でないこと
- 4 活動している会員が5名以上いること
- 5 各施設の利用規約及び関係する法令を守って活動すること

申込み・問合せ先

所定の様式を平成31年2月28日(木)までに教育委員会生涯学習課までご提出ください。
(様式は、生涯学習課窓口のほか、小諸市ホームページからも入手できます)
制度詳細などお問い合わせは、教育委員会生涯学習課 ☎22-1700 内線2281) まで



(写真：今年度市民音楽祭より)

乙女湖体育館 展覧会のお知らせ

第54回 小諸書芸展

— 開催と作品募集 —

- ◆日時 3月8日(金)～3月10日(日)
午前9時～午後5時 ※最終日は午後4時まで
- ◆作品種別 漢字・仮名・漢字かな交り書・てん刻・刻字
- ◆募集資格 書道を愛好する方々（市外の方々も大歓迎）
- ◆出品料 会員1,000円／非会員3,000円
- ◇お申込み 2月3日(日) 午前10時～10時30分（時間厳守）
※鶴寿庵(東小諸)へ出品料を添えてお申込みください。
- ▼お問い合わせ 小諸書芸連盟事務局 土屋 ☎23-2289



第39回 総合写真展

小諸市文化協会加盟団体による写真展です。

- ◆日時 3月14日(木)～3月17日(日)
午前10時～午後5時
※最終日は午後4時まで

▼お問い合わせ先
小諸市文化協会 ☎23-8880



公民館報、受賞しました！！
なんとなんと！！第7回全国公民館報コンクールにて、『公民館報こもろ』が奨励賞を受賞しました！
応募総数161紙の中での名誉ある受賞で、編集委員一同、驚き&感動です。広報こもろと合冊になる中で、独自の企画で工夫されている点、住民が主体的に編集している点が評価されたようです。私は「こもろの元氣」が受賞したのだと思っています！ありがとうございます。これからも皆様にご愛され、親しまれる館報を目指していきます。

(塩)



小諸市文化会館 2月スケジュール

日時	開演	イベント名	主催者	問い合わせ先
2/2(土)	9:30	第23回アンサンブル交歓会	佐久地区小学校管楽器研究会	0267-32-2034
2/3(日)	12:15	研究成果発表会	佐久平総合技術高等学校	0267-67-4010
2/17(日)	13:30	音楽まち・こもろ小学校活動発表会	小諸市教育委員会	0267-22-1700

受付開始日

- 【公民館・こもろ女性の家】 2019年4月利用予約 2月1日(金)
(貸出備品含む)
- 【乙女湖体育館】 2019年8月利用予約 2月1日(金)
- 【文化会館】 2020年2月利用予約 2月1日(金)